

令和4年度学校自己評価システムシート (県立大宮工業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	心豊かな人間を育成し 生徒の夢を実現する学校 ～中学生に憧れを！ 在校生に自信を！ 卒業生に誇りを！
重点目標	1 学習意欲と基礎学力の向上を図る。 2 基本的な生活習慣の確立を図る。 3 自己の適性を知り、希望進路を実現する。 4 地域社会に開かれた学校づくりに努める。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	【現状】 授業規律が保たれており、生徒が安心して学習する環境が整っている。 【課題】 基礎学力の定着を図り、学習に対して苦手意識を克服させる必要がある。	学習意欲の向上	①ICT及びBYOD環境の整備を継続すると共に、生徒の授業形態に対する意識調査を行う。それを踏まえて、本校の生徒の実態に応じた指導方法を研究できる研修会を実施する。 ②生徒一人ひとりの基礎学力の向上計画を検討する。長期休業課題・実力テストを通じ、生徒・教職員が正確に基礎学力を把握する。家庭学習の習慣化・成果と課題の見える化に加え、理解の定着化へ繋げる。	3学期(1月)生徒アンケートで「本校の授業の内容がよくわかっている」・「本校の授業を通じて、学習に対する意欲が向上している」が1学期(7月)より上昇したか。		
		生徒一人ひとりの基礎学力の向上		3学期(1月)生徒アンケートで「予習・復習等の家庭学習に取り組んでいる」が1学期(7月)より上昇したか。90%の生徒が課題の提出を行ったか。		
2	【現状】 ルールを守り、何事に対しても真摯に向き合う生徒が多い。一方基本的な生活習慣の未確立や環境調整能力の不足により、出席状況に不安定さが見られる。 【課題】 一人ひとりの生徒に対する具体的な支援と学校・家庭・外部機関等の専門家との連携の充実させる必要がある。	基本的な生活習慣の具体的な把握及び確立を図る取組	①SC/SSWとの連携の下、具体的な支援ケースの検討・対応方法の共有・蓄積を図る。生徒と保護者への相談窓口や支援情報の提供を積極的に行う。 ②出席状況に改善を要する生徒について、多角的に要因を分析する。結果を基に、家庭と連携しながら生活習慣や環境の調整を行う。	①生徒・保護者に対する支援情報の提供回数が増加したか。生活習慣確率のための指導に満足しているか。 ②3学期(1月)生徒アンケートで「出席状況は良好で、遅刻・早退もしていない」が1学期(7月)より上昇したか。		
		5S活動(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を意識した規範意識の醸成	①5S活動(特に整理・躰)を心がける取組を行い、生徒・教職員でより充実した学校環境を作る。 ②人間性向上へ繋がる活動などより肯定的な生徒指導の充実を図る。	①5S活動について理解し、自ら取り組む意識が醸成されたか。 ②生徒指導案件は減少したか。		
3	【現状】 自分の適性が正確にわからず、進路の目標を見出せない生徒が多い。 【課題】 生徒の発達段階と適性に合った進路目標を設定し、実現させる必要がある。 自身の進路を考える上での十分な情報と経験する機会を提供する必要がある。	発達段階と適性に合った進路目標の設定	①キャリア教育を充実させ、発達段階に応じた進路目標の設定し、継続的な指導を行う。 ②自身の進路を考える機会の増加に向けて、進路ガイダンスに加えて、積極的な外部と連携を図る。	①進路アンケートで年次ごとに、自分の適性、能力を把握できたか。「卒業後の進路」が「決まっていない」の生徒が20%以下を継続できたか。 ②就職での業種区分及び進学での専攻分野を理解できたか。		
		進路決定率100%の継続	①適切な情報や経験を提供できる機会(LHR等)を充実させると共に、発達段階に応じた社会人基礎力の育成に取り組む。 ②進路実現に向けて就職者・進学者へ計画的な補習等の指導を実施する。	①課題研究・授業・LHRを含め、社会人基礎力を育成する機会を複数回設けられたか。 ②進路決定率100%が実現できたか。		
4	【現状】 情報発信を継続することで、地域との連携が育ちつつある。 【課題】 現在の情報発信の内容や方法を充実させる。加えて、より広い範囲の地域への情報発信を行う必要がある。	積極的な学校情報の発信	①授業風景を始めとした普段の学校生活など「今必要とされている情報」をより正確に捉え、HPの安定的な更新・学校紹介ページの充実を行う。 ②従来の地域に加え、より多くの自治体・公民館等へ発行物の配付を行う。本校での生徒の成長状況を各中学校へ伝えるより具体的な方法を検討する。	①日常的な学校の状況等について、HPでの情報発信の回数が昨年度を上回ったか。(R3年度80回) ②地域や中学校を対象に本校の具体的な情報を伝えることができたか。		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和 年 月 日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		